

平成26年度

工事監査の結果

「亀山消防署北東分署建設工事」の工事監査を、平成26年11月17日に行いました。その結果を、平成27年2月20日に市長と市議会へ報告しましたので、概要をお知らせします。

亀山市監査委員 渡部 満
同 森 美和子
同 匹田 哲

【監査対象工事の概要】

所 管 室	消防本部 北東分署建設準備室	工 事 場 所	亀山市長明寺町地内
工 事 名	I 亀山消防署北東分署 建設工事（建築工事）	II 亀山消防署北東分署 建設工事（電気設備工事）	III 亀山消防署北東分署 建設工事（機械設備工事）
工 事 内 容	建築面積 873.64 m ² 延床面積 842.38 m ² 事務所棟 鉄筋コンクリート造1階 車庫棟 鉄骨造1階 駐輪場 アルミ合金造 ホース乾燥塔 等	受電設備 幹線設備 電灯設備 動力設備 トイレ呼出表示設備 放送設備 非常警報設備 太陽光発電設備 等	空気調和設備 換気設備 衛生器具設備 給水設備 排水設備 給湯設備 ガス設備 訓練用消火栓設備
契 約 方 法	一般競争入札	一般競争入札	一般競争入札
契 約 金 額	213,840,000 円	48,492,000 円	32,238,000 円
請 負 業 者	堀田建設株式会社	林電気工事株式会社	三重水熱工業株式会社
設 計 業 者	株式会社山下設計 中部支社	株式会社山下設計 中部支社	株式会社山下設計 中部支社
監 理 業 者	株式会社山下設計 中部支社	株式会社山下設計 中部支社	株式会社山下設計 中部支社
工 期	平成26年6月20日 ～平成27年3月10日	平成26年5月14日 ～平成27年3月10日	平成26年5月14日 ～平成27年3月10日
工 事 進 捗 率 (10月31日現在)	38.0%	28.0%	35.0%

【1. 総 括】

平成23年度に常備消防力適正配置調査を実施し、その結果を踏まえ、効果的な消防力の充実・強化を図るため、市の北東部地域に亀山消防署北東分署を建設するものである。

書類関係の監査では、設計・積算・契約・監理監督・施工管理・試験等各段階の書類等を調査したところ、建築工事、電気設備工事、機械設備工事のいずれも適正であると判断した。

現場施工状況の監査では、建築工事は、10月末日で計画出来高40.0%に対して実施出来高38.0%、電気設備工事は、計画出来高35.0%に対して実施出来高28.0%、機械設備工事は、計画出来高42.0%に対して実施出来高35.0%であった。いずれの工事も目視により確認できる範囲では、施工状況は適正であると判断した。

【2. 建築工事】

書類調査

① 設計

北東分署建設基本計画の基本方針に沿った設計となっていた。

② 積算

公共建築工事積算基準（平成25年度版）、工事歩掛要覧、建築コスト情報、建築施工単価によるほか、いずれにも該当のないものは3者の見積りを行い、適正価格を採用していた。裏付けとなる数量拾い出し資料も整理され、積算は細部にわたり適切に行われていた。

③ 契約

契約に必要な書類（契約書、工事着工届、工程表、現場代理人届、主任技術者届等）は完備されており、その内容は適正であった。

また、保険関係も適正に処理されていた。

④ 監理監督

施工状況の記録、施工計画図、各報告図書、検査・監理に関する記録など着工後の書類は適切に作成され、それぞれ日程順によく整理されていた。

⑤ 施工管理

工事業者は、着工早期に工事工程表と総合仮設計画書を作成し、施工の方針を具体的に示し、監督員の承認を得ていた。

施工状況

① 工事施工状況

事務所棟のRC造部については、躯体コンクリートの打設はすでに完成し、垂直型枠も取り外されていた。コンクリートの打込みは、躯体の隅々まで行き届いていた。

② 安全管理状況

写真、日報、その他の資料より、安全衛生管理と組織図の内容は適切であり、安全訓練等の実施報告書の整理もできていた。

③ 工程管理状況

計画工程表に基づき総合的に管理し、毎週の定例会議・月末の総合定例会議時に、各業者間の調整を行っていた。

【3. 電気設備工事】

書類調査

① 設計

主要設備（受電設備、発電機設備）の配置計画は、建築配置計画の美観を損なわない範囲で、また電圧降下により幹線ケーブルがサイズアップによる予算増にならないよう、各分電盤への配線距離を短縮してコスト削減を図る設計としていた。

② 積算

単価は、積算実務マニュアル（平成 25 年度版）、建設物価（平成 26 年版）、公共建設工事積算基準（平成 23 年度版）によるほか、いずれにも該当のないものは 3 者の見積りを行い、適正価格を採用していた。

③ 契約

前述の建築工事と同様である。

④ 監理監督

工事記録として工事写真と作業日報を整備し、工事ごとの施工チェックシートにより品質管理を行っていた。

⑤ 施工管理

使用機材届出書、主要機器選定書は適切であり、主要機器の選定は妥当であった。

施工状況

① 工事施工状況

主要機器については、工場試験成績書の提出を求め、工事監督員・工事監理者による搬入時の外観検査を的確に実施していた。

② 安全管理状況

現場事務所内に緊急時の連絡系統図、緊急時社内組織表、救急病院周辺地図、安全施工サイクル表の掲示があることを確認した。

③ 工程管理状況

前述の建築工事と同様である。

【4. 機械設備工事】

書類調査

① 設計

給湯設備計画は、シャワー系統を見直し、給湯設備の循環ポンプの必要性を検討して、初期投資の削減と省エネのためポンプの設置を取り止める設計としていた。

② 積算

前述の電気設備工事と同様である。

③ 契約

前述の建築工事と同様である。

④ 監理監督

前述の電気設備工事と同様である。

⑤ 施工管理

前述の電気設備工事と同様である。

施工状況

① 工事施工状況

前述の電気設備工事と同様である。

② 安全管理状況

前述の電気設備工事と同様である。

③ 工程管理状況

前述の建築工事と同様である。

以上により、建築工事、電気設備工事、機械設備工事は、総体的にいずれも適正に実施されていた。